

コンパクト6HD

取扱説明書

Version 2.1



1. はじめに.....	5
2. 安全上のご注意.....	6
ご使用上の注意.....	7
3. 内容物.....	13
4. 使用法.....	14
各部のなまえ.....	14
電源オン/オフ.....	16
待機モード.....	17
読書用スタンドの使用.....	18
倍率調整.....	23
カラーモードの変更.....	25
読書/遠方用カメラ.....	27
静止画シャッターボタンの使用.....	28
フォーカスロック.....	30
バッテリーの充電.....	32
バッテリーの警告.....	33

日付と時間.....	34
5.メニュー.....	36
メインメニューを開く/閉じる.....	36
メインメニュー.....	37
バッテリーの残量.....	39
明るさの調整バー.....	39
保存.....	40
開く.....	41
削除.....	43
設定.....	45
ライン オン/オフ.....	46
Miracast (ミラキャスト): モニターやテレビにワイヤレス接続.....	46
カラー.....	48
その他.....	50
読書用ライト.....	50
遠方用ライト.....	51
消音.....	51

バイブレーション	51
ラインの位置	52
待機	52
操作バーの位置	52
スタンド収納時	53
言語	53
初期設定に戻す	54
カメラレンズおよびライトのお手入れの方法	56
6. 製品仕様	57
7. お客様相談室	59

1. はじめに

この度は、コンパクト6HD をご購入頂き、ありがとうございます。この商品は、Optelec 社(オランダ)の拡大読書器です。

コンパクト6HD は、6インチのタッチスクリーン(画面をタッチして操作)を装備した拡大読書器です。高解像度の HD 画質でフルカラーやハイコントラストの文書や写真を拡大して表示することができます。6インチの LCD モニター、2つのカメラ、お好み設定できるタッチスクリーン、専用のアクセサリがあり、自分の用途に合わせてご使用いただけます。

疑問点や不明点等があれば、この取扱説明書の最後のページに記載しております、弊社お客様相談室か、ご購入いただいた販売店までお問い合わせください。

2. 安全上のご注意

以下の安全上の注意に従って、ご使用ください。

- 本体を直射日光が当たる場所や、極端に温度が低い、または高い環境で、ご使用にならないでください。製品の破損や故障の原因になります。
- 本体を自分で修理したり、分解したりしないでください。された場合は、保証の対象外になります。技術サポートが必要な場合は、弊社お客様相談室か、ご購入いただいた販売店にご連絡ください。
- 本体が濡れないようにご注意ください。
- 本体を落としたり、ぶつかけたりしないでください。製品の破損や故障の原因になります。
- バッテリーを取り出したりしないでください。必要な場合は、弊社お客様相談室か、ご購入いただいた販売店にご連絡ください。
- お手入れの際には、必ず、本体の電源を切り、アダプターケーブルをコンセントから抜いてから行ってください。乾いた柔らかい布をご使用ください。洗剤や研磨剤をご使用にならないでください。製品の破損や故障の原因になります。

液晶モニターに関するご注意

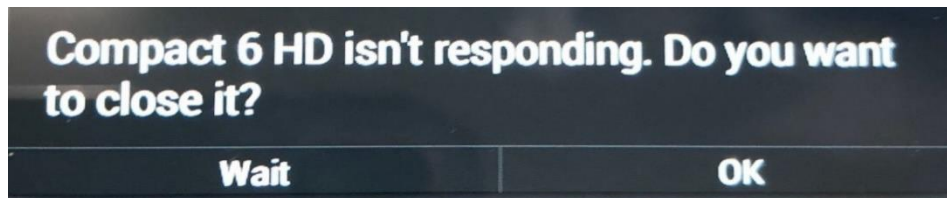
液晶モニターは、衝撃、圧迫、落下などで強い力が加わると割れることがあります。取り扱いには十分注意してください。なお、上記の原因による割れやキズは、保証期間中でも有償修理となります。

また、液晶モニターが割れた場合は、モニター部や内部から漏れた液体には絶対に触らないでください。

ご使用上の注意

- ・ ごくまれに、内部の処理が正常に行われなかった場合などに、英語のエラーメッセージが画面に表示されることがあります。[OK]をタッチすればエラー表示が消え、正常に使用できます。

例)



- ・ 本機の操作(読書用スタンドを立てる、閉じる、ボタンやアイコンの操作)は、連続して行わず、次の操作を行う場合は、少し間を開けて行ってください。誤動作する場合があります。
- ・ 本機は、タッチスクリーンを使用する操作が多々あります。操作は指で行いますが、爪では反応しませんのでご注意ください。また、タッチペンでの操作は推奨しておりませんので、ご了承ください。
- ・ 保護シートを貼られた場合、誤動作や操作できないなどの可能性がありますので、ご注意ください。
- ・ 本体の画面や指に極端な汚れがある場合、画面にタッチしても反応しない場合があります。

- ・ 使用中において、本体を上下左右に移動させながら文字などを見る場合、動かし方によっては、文字などの追従が少し遅れたり、かすれたりする場合があります。
- ・ 光沢ある原稿を見る場合、本機のライトが反射し、画面に映り込む場合があります。

安全にお使いいただくために…

必ずお守り下さい

この「取扱説明書」の表示では、本装置を正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために守っていただきたい事項を示しています。次の表示と図記号の意味をよくご理解いただいでから本文をお読み下さい。











この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。





この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

図記号の意味


	名称：注意 意味：注意（しなければならないこと）を示すもので、具体的な注意内容は近くに文章や絵で示します。
	名称：禁止 意味：禁止（してはいけないこと）を示すもので、具体的な禁止内容は近くに文章や絵で示します。
	名称：風呂場・シャワー室での使用禁止 意味：装置を風呂場やシャワー室で使用することで火災・感電などの損害が起こる可能性を示すもので、図の中に具体的な禁止内容が書かれています。
	名称：接触禁止 意味：接触すると感電などの傷害が起こる可能性を示すもので、図の中に具体的な禁止内容が書かれています。
	名称：分解禁止 意味：装置を分解することで感電などの傷害が起こる可能性を示すもので、図の中に具体的な禁止内容が書かれています。
	名称：強制 意味：強制（必ずすること）を示すもので、具体的な内容は近くに文章や絵で示します。
	名称：電源プラグをコンセントから抜け 意味：使用者に電源プラグをコンセントから抜くよう指示するもので、図の中に具体的な指示内容が書かれています。


	警告
	万一、装置から煙がでていたり、異臭や異音が発生するなど、異常状態の場合は、すぐに装置の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜く。火災や感電の原因となります。煙などが出なくなるのを確認したのち、ただちに販売店に連絡して下さい。
	万一、装置の内部に水、金属類などの異物が入ってしまった場合は、すぐに装置の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜く。火災や感電の原因となります。そのまま使用せずただちに販売店に連絡して下さい。
	万一、装置を落としたり、カバーなどを破損した場合には、すぐに装置の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜く。火災や感電の原因となります。そのまま使用せず、ただちに販売店に連絡して下さい。

 **警告**


 装置から液体が漏れ出している場合は、装置に触れない。失明や火傷などの事故の原因となります。特に、液体が目に入ってしまった場合は多量の水道水でただちに患部を洗浄し、至急医師の診断を受けて下さい。


また、液体に触れた場合や液体が染みた衣服などに触れた場合でも水道水でただちに洗浄し、医師の診断を受けて下さい。なお、これに併せてただちに販売店に連絡して下さい。


 引火性のガスや発火性の物質がある場所では使用しない。火災、爆発の原因となります。


 装置のカバー、キャビネットを外さない。感電の原因となります。


内部の点検、整備や修理は販売店にご依頼下さい。


 装置を分解、改造しない。火災や感電の原因となります。


 表示された電源電圧で使用する。火災や感電の原因となります。


 **警告**


 風呂場、雨や雪が降っている屋外、その他水がかかるところ、湿気の多いところでは使用しない。感電の原因となります。

 露の付いた状態で使用しない。感電の原因となります。

 ケーブルの上に重いものをのせたり、ケーブルを装置の下敷きにしない。ケーブルが傷ついて火災や感電の原因となります。

 ケーブルが痛んだら（芯線の露出、断線など）、すぐに使用を止め、販売店に交換を依頼する。火災や感電の原因となります。

 ケーブルを無理に引っ張ったり、ねじったり、折り曲げたりしない。火災や感電の原因となります。

 雷が鳴り出したら、装置や接続されたケーブルなどに触れない。感電の原因となります。



必ず付属のACアダプタを使用する。他のACアダプタを使用すると、火災や感電の原因となる場合があります。



お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行う。感電の原因となる場合があります。



装置を長期間使用しないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜く。火災の原因となる場合があります。



ケーブルを着脱するときは、プラグ部分を持って行う。ケーブルが傷つき、火災や感電の原因となる場合があります。



ほこりの多い場所で使用しない。火災や感電の原因となる場合があります。
電源プラグや接続部にほこりが付着している場合は取り除いて使用して下さい。



調理台や加湿器のそばなど、油煙や湯気が当たるような場所で使用しない。火災や感電の原因となる場合があります。



濡れた手でACアダプタ、電源プラグやケーブルを抜き差ししない。感電の原因となる場合があります。

3. 内容物

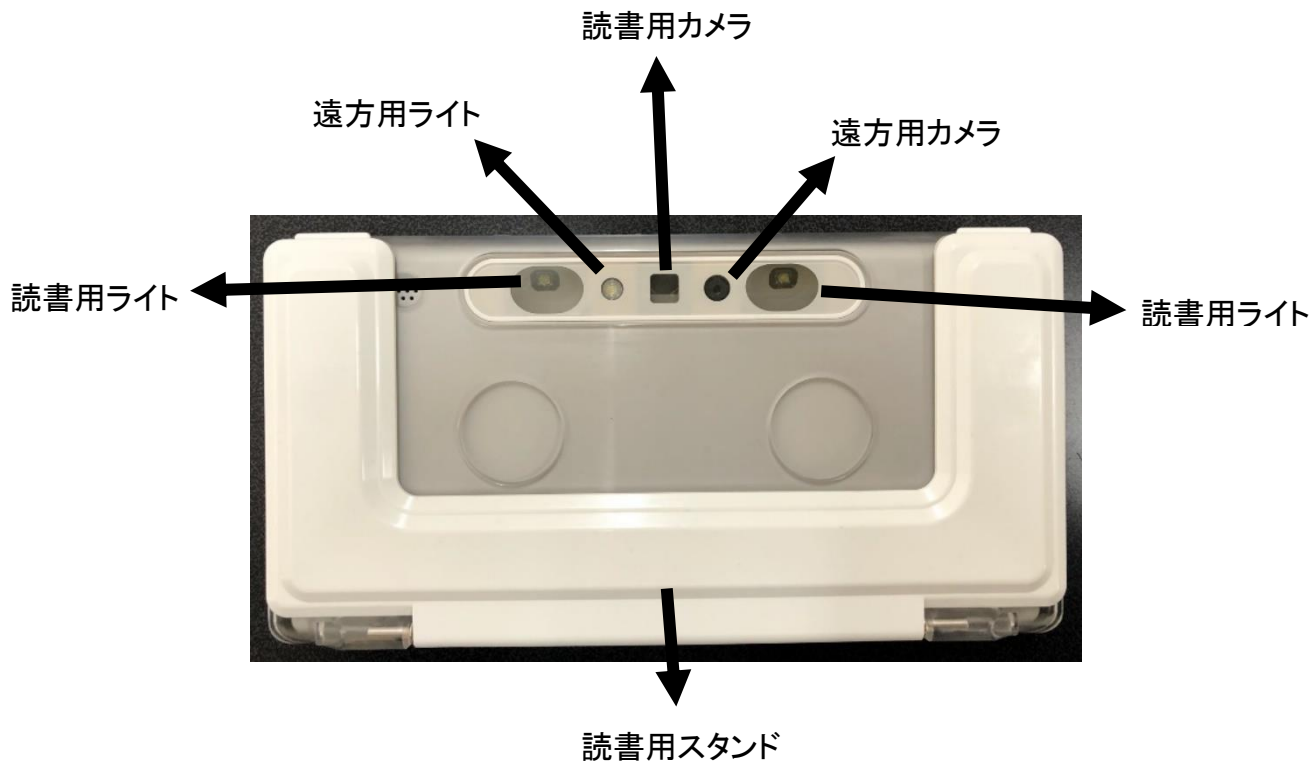
パッケージの中に、以下の物が全て入っているかご確認ください。もし不足がある場合は、ご購入いただいた販売店にご連絡ください。

- 本体
- 読書用スタンド(本体に装着済み)
- 専用ケース
- AC アダプター、USB-C ケーブル
- クリーニングクロス
- 取扱説明書
- 保証書・ユーザー登録用紙

4. 使用法

各部のなまえ





電源オン/オフ

電源をオンにするには、画面の左上にあるオレンジの電源ボタンを約 3 秒間、長押ししてください。本体に電源が入り、バイブレーション(振動)し、起動画面から起動音となり、しばらくして使用可能になります。電源ボタンの長押しから画面に画像が表示されるまでに、約 30 秒かかります。本体の電源をオフにするには、もう一度、約 3 秒間、オレンジの電源ボタンを長押ししてください。バイブレーションと終了音となり、電源がオフになります。

待機モード

本体の操作が何も行われず、本体も動かされない状態が続くと省電力機能が働き、自動的に待機モードになります。オレンジの電源ボタンを押すと、元の状態に戻ります。待機モードになるまでの時間は、メニューから変更、または、無効(なし)にできます。設定方法については、第 5 章「メニュー」の「待機」をご参照ください。

使用中に軽くオレンジの電源ボタンを押すと、任意に待機モードにすることができます。もう一度、電源ボタンを軽く押すと、待機モードは解除されます。待機モードが解除されて画面に画像が表示されるまでに、約 3 秒かかります。

待機モードの時、読書用スタンドを立てると待機モードは、解除されます。読書用スタンドを閉じると自動的に待機モードに戻ります([スタンド収納時]の設定が[待機]のとき)。設定については、第 5 章の「メニュー」の「スタンド収納時」をご参照ください。

待機モードのときに静止画シャッターボタンを押すと、時計表示になります。

読書用スタンドの使用

最初、読書用スタンドは本体に取り付けられています。スタンドを立てても、閉じても使用できます。



読書用スタンドを立てて読書モードで使用



読書用スタンドを閉じて遠方モードで使用

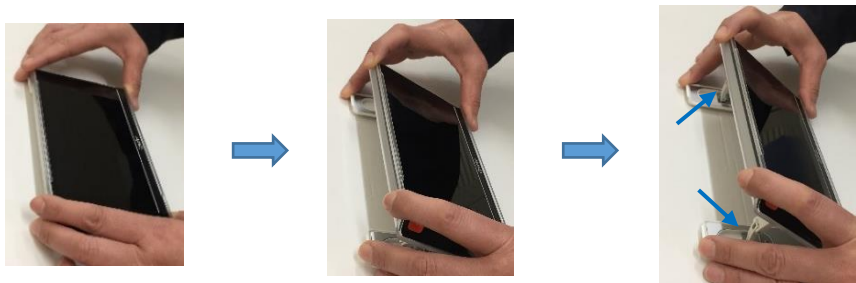
読書用スタンドを立てると、画面は、最適に読書ができるように、人間工学に基づいた角度に固定され、長い文書が楽に読めます。(読書モードで使用)

読書用スタンドを閉じた状態では、本体を手で持って、本体の後ろにあるカメラを表示したい物や文章に向けます。少し離れた物や文書を見たいときに便利です。(遠方モードで使用)

操作バーの色は、読書モードのときは紺色、遠方モードの時はオレンジ色になります。

読書用スタンドを立てるには、以下の手順で行ってください。

1. 画面が上向きで、電源ボタンが左側、静止画シャッターボタンが右側になるように本体を置いてください。
2. 両手を左右に添えてください。
3. 中指で読書用スタンドのスタンド部分を押しえ、本体を起こして開いてください。（待機モード状態でスタンドの脚を開くと待機モードが解除され、画面がつきます。）

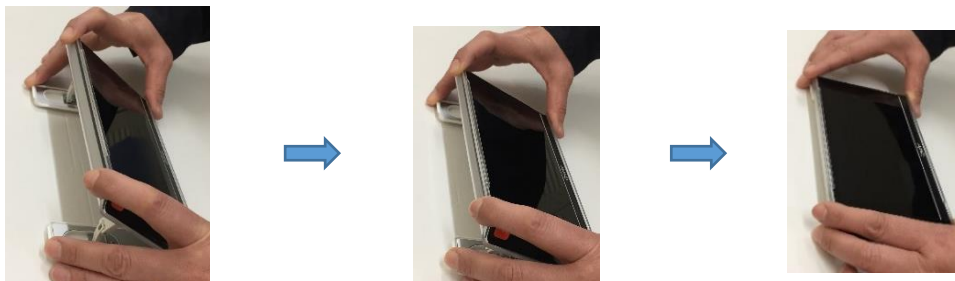


正常に開いていれば、読書用スタンドの左右の脚(→)が伸び切った状態になります。

注意：落下事故を防ぐために、操作は、必ずテーブルなどの平らな台の上に置いた状態で行ってください。持ち上げた状態で行うと、反動で落下する恐れがあります。

読書用スタンドを閉じるには、以下の手順で行ってください。

1. 画面が上向きで、電源ボタンが左側、静止画シャッターボタンが右側になるように本体を置いてください。
2. 両手を左右に添えてください。
3. 本体をやさしく押し、スタンドを閉じます。

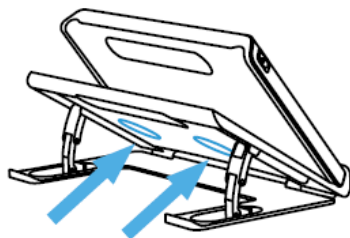
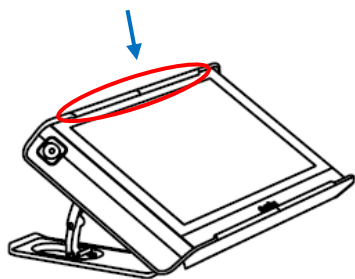


注意: 落下事故を防ぐために、操作は、必ずテーブルなどの平らな台の上に置いた状態で行ってください。持ち上げた状態で行うと、反動で落下する恐れがあります。

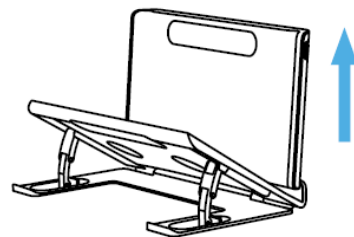
本体から読書用スタンドを取り外すことができます。外す時は以下の手順で行ってください。スタンドの画面の上側のストッパーを外側へ少し開きながら、本体を背面側から画面方向へ軽く押せば、スタンドから本体が外れます。

※下の図は、スタンドを開いた状態で説明していますが、閉じた状態でも取り外しは可能です。待機モードの状態で行うと、待機モードが解除されることがあります。作業時には、スタンドおよび本体の落下にご注意ください。

スタンドの上側のストッパーを
少し開く



背面側から軽く押す

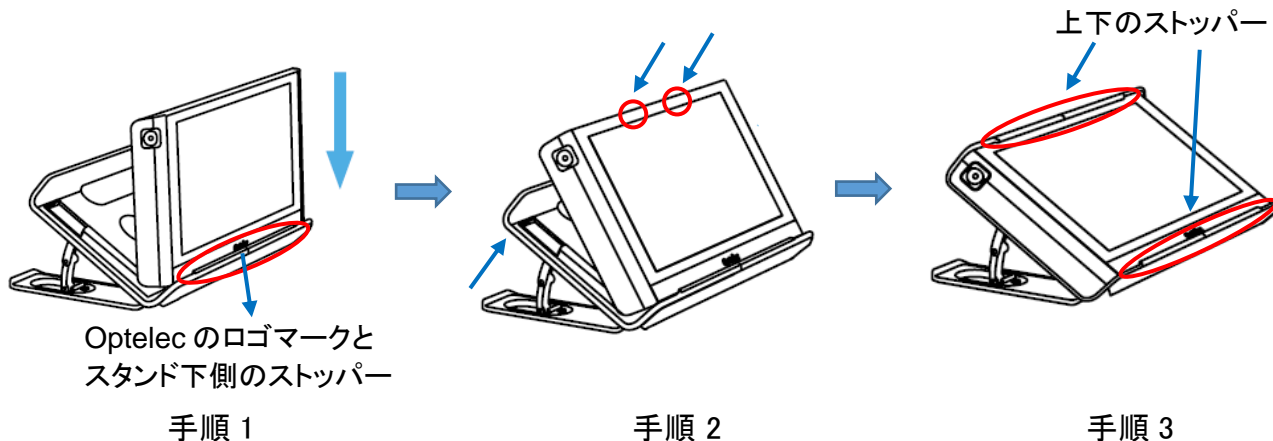


スタンドから外れる

本体に読書用スタンドを取り付けるときは、以下の手順で行ってください。

1. 読書用スタンドのスタンドを立て、そのスタンドの下側に本体の Optelec のロゴマークが見えるように置き、スタンドの下側のストッパーが本体に掛かっていることを確認します。
2. 両手でスタンドの上側と本体の上側を押さえて固定します。
3. 本体がスタンドの上下のストッパーに掛かっていることを確認します。

※下図は、スタンドを開いた状態で説明していますが、閉じた状態でも取付は可能です。
待機モードの状態で行うと、待機モードが解除されることがあります。
作業時には、スタンドおよび本体の落下に注意してください。



倍率調整

倍率を変更するには、画面にタッチしてください。画面の下または右側(設定した位置によります)に操作バーが表示されます。操作バーの位置はメニューで設定できます。操作バーの位置の設定方法については第5章「メニュー」の「操作バーの位置」を参照してください。

操作バーの[+]アイコンにタッチすると拡大し、[-]アイコンにタッチすると縮小します。操作バーを消すには、アイコンの何もないところを軽くタッチしてください。約10秒間、画面にタッチしない状態が続くと、自動的に操作バーは消えます。



操作バーの色

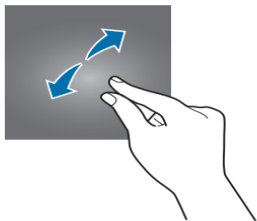
読書モード: 紺色

遠方モード: オレンジ色

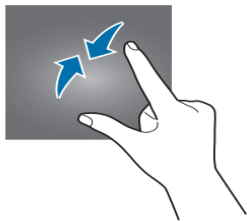
保存した静止画を表示したとき: オレンジ色

以下の方法で操作バーを表示させないで倍率を変更することもできますが、センサーが正しく反応しない場合がありますので、[+]、[-]アイコンで倍率を変更することをお勧めします。

画面に二本の指を乗せ、二本の指の間を広げるように動かすと、拡大します(ピンチアウト)。その反対に、二本の指でつまむ(間を狭める)ように動かすと、縮小します(ピンチイン)。



ピンチアウト



ピンチイン

※ピンチイン、ピンチアウトするときに、センサーが正しく反応せず、読書モードと遠方モードが切り替わったり、メインメニューや時計が表示されたりすることがあります。

読書用スタンド使用時の拡大倍率

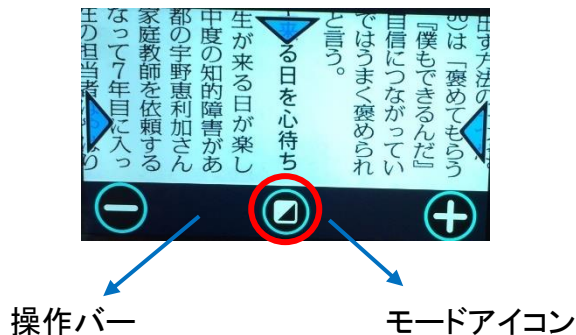
読書用カメラ: 約 1.8～約 18 倍

カラーモードの変更

画面にタッチして操作バーを表示させ、操作バーの真ん中のモードアイコンにタッチすると、以下のカラーモードに変更できます。

- フルカラーモード: フルカラー表示
- ハイコントラストモード 1: 白文字に黒背景(初期設定)
- ハイコントラストモード 2: 黒文字に白背景(初期設定)
- ハイコントラストモード 3: 黄文字に黒背景(初期設定)
- ハイコントラストモード 4: 黄文字に青背景(初期設定)

操作バーは画面にタッチしなければ、約 10 秒で消えます。操作バーをすぐに消したい場合は、アイコン以外の場所をタッチしてください。



文字色と背景色の変更は、第 5 章「メニュー」の「カラー」を参照してください。

※読書モードから遠方モードに変更したときは、フルカラーモードに変わります。

遠方モードから読書モードに変更したときは、読書モードで選択していたモードになります。

読書/遠方用カメラ

本体には読書用と遠方用の2種類のカメラが搭載されています。



読書モード焦点距離
スタンドで固定(約 5cm)



遠方モード焦点距離
約 10cm~無限大

スタンドを立てた状態で本体の電源を入れると、自動的に読書用カメラが選択されます。スタンドを閉じた状態で電源を入れると、遠方用カメラが起動します。読書用カメラは、スタンドを立てて読書をするときに適していて、遠方用カメラは、少し離れた物を見るときに適しています。カメラを切り替えるには、画面の

上端から下の方にスワイプ(画面をタッチしたまま指を下に動かす)してください。または、画面をタッチして、画面の上方の矢印をタッチしてください。

※スワイプが反応しない場合は、画面にタッチし、操作バーを表示させ、画面の上方の矢印にタッチしてカメラを切り替えてください。

※待機状態から起動させると、待機状態前の状態やスタンド収納時の設定によって、読書用、遠方用どちらのカメラが起動するかが変わります。必要に応じてカメラを切り替えてください。

※読書モードから遠方モードに変更したときは、フルカラーモードに変わります。

遠方モードから読書モードに変更したときは、読書モードで選択していたモードになります。

静止画シャッターボタンの使用

静止画シャッターボタンを使用して、文字や画像を静止させることができます。

1. 静止させたい文字や画像を、画面に映してください。
2. 本体の右上にある静止画シャッターボタンを押すと、画像が静止します。
3. 静止画シャッターボタンをもう一度押すと、通常の画面に戻ります。

静止画像の保存や削除については、第5章「メニュー」の「保存」や「開く」をご参照ください。


静止画像は、操作バーを表示させて、カラーモードの変更や倍率の変更ができます。
静止画像を拡大表示している時、画面に指を触れた状態で上下左右に動かすことができます。

※最大倍率や最大倍率に近い倍率で画像を静止させた場合、静止画像は元の画像よりも少し小さく表示されます。その場合、静止画を拡大表示することはできません(縮小表示は可能)。

※静止画像を表示中は、カメラの切替(読書モード/遠方モード)ができません。

待機モード中での使用

待機モード中に静止画シャッターボタンを使用すると、日付と時計が表示されます。

通常の使用画面にするには、画面の左端の  にタッチしてください。

再度待機モードにするには、電源ボタンを軽く押してください。

フォーカスロック

遠方モードでは、焦点を固定するためのフォーカスロック機能があります。本体を約 10cm 以上持ち上げて筆記をするときなどに使用します。筆記をするときは、本体の向きを上下反対 (Optelec のロゴが上側) にするか、縦 (Optelec のロゴが左側) にして使用します。焦点をロックするには、遠方モードにし、画面をタッチして操作バーを出します。その後、画面を約 2 秒間、タッチし続けます。ロックされると、フォーカスロックアイコン (鍵がかかったアイコン) が右下 (本体の Optelec のロゴが上側の時) に表示されます。フォーカスロックを解除するには、画面に軽くタッチしてフォーカスロックアイコンを表示させフォーカスロックアイコンにタッチするか、画面を約 2 秒間、タッチし続ければ、フォーカスロックアイコンが消え、フォーカスロックが解除されます。



※表示画像の情報が少ないと、ピントが合いにくい場合があります。その時は、情報が多い個所や文書を表示し、フォーカスロックをしてから、見たい画像を表示してください。

※フォーカスロックを筆記で使用する場合、周囲の光の影響を受けますので、本体の向きや手の持って行き方などにより、見やすさが変化します。遠方用ライトをオンにすることにより、筆記しやすくなる場合もありますので、状況により設定してください。遠方用ライトの設定については、第5章「メニュー」の「遠方用ライト」を参照してください。

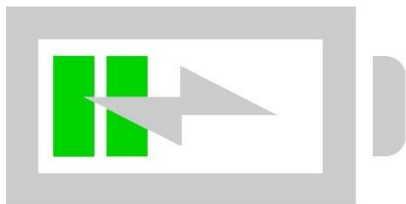
注意

フォーカスロック中において、待機モードからの復帰や、設定画面などを一度表示させた場合は、フォーカスロックのアイコンが表示されていても、動作として、フォーカスロックが外れている場合があります。そのような場合は、一度フォーカスロックのアイコンを消し、再度フォーカスロックをやり直してください。

バッテリーの充電

充電するには、同梱の AC アダプターに USB-C ケーブルを接続し、もう片方を本体の右横にある USB-C 端子に接続してから、AC アダプターをコンセントに接続して、充電ください。

充電状態はメインメニューから確認することができます。メインメニューの開き方は、第5章「メニュー」の「メインメニューを開く/閉じる」をご参照ください。



充電中



満充電

充電には、約 2 時間かかります。満充電状態で、約 2.5～3 時間ご使用できます（設定により異なります）。安全のため、本体と一緒に同梱された AC アダプター以外のもので充電しないでください。

電源オフ状態からの状態

USB-C ケーブル接続後、画面の真ん中に電池マークが出て、約 30 秒後に電池マークが消えます。その後、電源ボタンを押すことにより、充電状態を確認することができます。



ケーブル接続直後



充電中



満充電

バッテリーの警告

バッテリーの充電が必要なときに、バッテリーの残量わずかの警告アイコンが短く表示されます。警告アイコンが表示されたら、必ず充電してください。バッテリーの残量が無くなると、本体の電源が自動的に切れます。

本体の電源が入らない時は、AC アダプターを接続して、電源をオンにして、バッテリーの残量を確認してください。



警告アイコン

日付と時間

時計を表示するには、画面の右端に指をタッチした状態で、右から左に指をスワイプ(滑らせて)させてください。あるいは、画面にタッチして、画面の右端の矢印にタッチしてください。時計表示の色は、ハイコントラストモード1の色で表示されます。

※スワイプが反応しない場合は、画面の右端の矢印にタッチして時計表示にしてください。




時計表示



時間設定


バッテリーアイコンにタッチすると、バッテリーの残量が拡大して表示されます。時計表示に戻るには、[←]にタッチしてください。

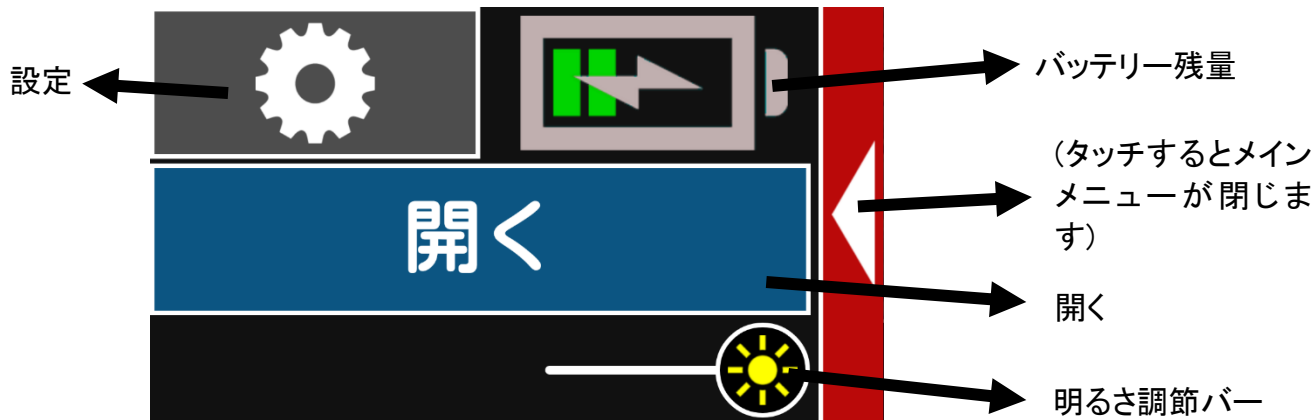
日時を設定するには、[設定]アイコンにタッチしてください。変更したい[時間]または[日付]にタッチして選択します。[∧]、[∨]、[<]、[>]のアイコンで、日付または時間を設定します。[←]にタッチすると設定画面から時間表示に戻ります。

通常画面に戻すには、画面の左端の  をタッチしてください。

5.メニュー

メインメニューを開く/閉じる

メインメニューを開けるには、画面の左から右にスワイプしてください。または、画面をタッチして、画面の左の矢印のアイコンをタッチしてください。メインメニューが開きます。メインメニューを閉じるには、画面の右から左へスワイプするか、のアイコンをタッチしてください。

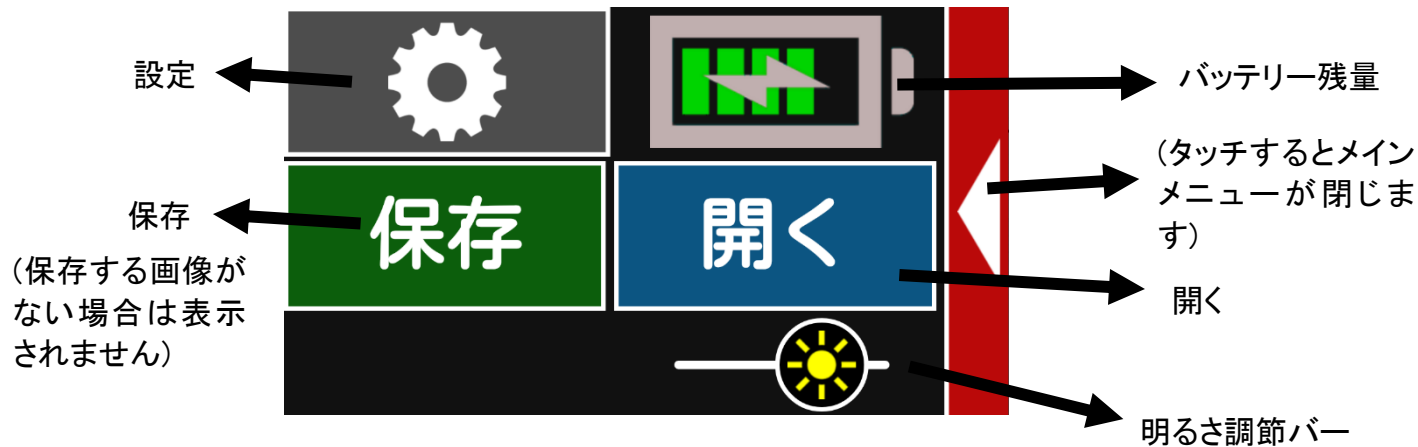


メインメニュー

メインメニューには、設定などのアイコンや明るさ調整バーがあります。設定などを行う場合には、アイコンにタッチしてください。また、明るさ調整バーを調整するには、明るさ調整バー上にある太陽のアイコンにタッチした状態で指を左右に動かして調整します。明るさ調整バー以外のアイコンにタッチすると、新たなメニューカリストが表示されます。メインメニューに戻るには、矢印のアイコンにタッチしてください。

メインメニューには以下のオプションがあります。

- バッテリーの残量
- 明るさ調整バー
- 保存（保存する画像がない場合は表示されません。ある場合は、次頁の図のように表示されません。）
- 開く
- 設定



バッテリーの残量

バッテリーの残量は画面の右上に表示されます。バッテリーのアイコンにタッチすると、新たに画面が開き、拡大されたバッテリーアイコンで残量が表示され、[ソフト情報]アイコンと[←]アイコンも表示されます。メインメニューに戻るには、[←]を押してください。充電中の場合は、バッテリーアイコンの上に雷マークが出ます。

ソフト情報

[ソフト情報]アイコンにタッチすると、アプリケーションのバージョンが表示されます。

明るさの調整バー

画面の明るさを調整するには、太陽のアイコンを左右にスライドさせてください。

保存

静止画像を保存することができます。

- 静止画シャッターボタンを使用して画像を静止させます。
- メインメニューを開けます。
- [保存]アイコンを押して静止画像を保存します。
- メインメニューが閉じて、静止画像が表示されます。
- 通常の画面に戻すには、静止画シャッターボタンをもう一度押してください。

※保存する静止画像がない場合、[保存]アイコンは表示されません。

※倍率に関係なく、保存を行うと最小倍率で保存されます。

※画像を連続して保存する場合、次の保存は、約 15～20 秒の間隔をあけてから保存してください。

早く保存すると誤動作する場合があります。

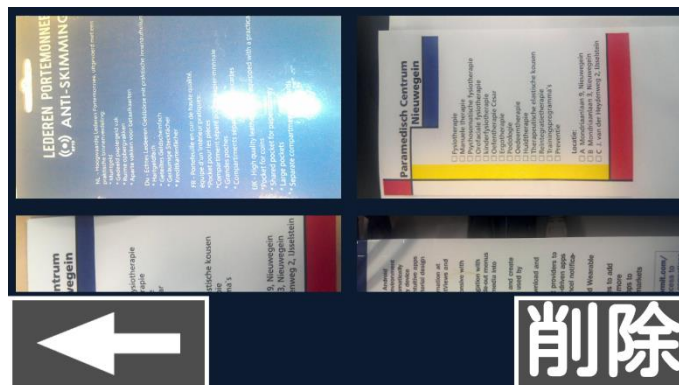
※1000 枚程度保存できます(保存する画像の容量により枚数は変化します)。

保存した画像データの消失について

取扱上の不備や本機の故障あるいは修理によって、保存された画像データが消失することがあります。保存された画像データの消失による損害については、当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

開く

画像を開くには、メインメニューを開き、[開く]アイコンをタッチしてください。保存した画像の一覧が表示されます(ハイコントラストモードで保存してもフルカラーモードで表示されます。画像を拡大して保存しても最小倍率で表示されます。)。1画面で表示できない画像は、上下にスワイプ(画像をタッチしたまま指を上下に動かす)すると、次の画面に表示されます。



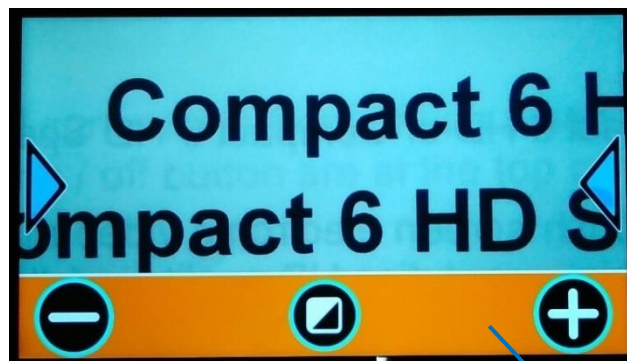
画像を開く

見たい画像をタッチすると選択した画像が表示されます(使用中のカラーモードで表示されます)。画像を選択しないで[←]にタッチすると、メインメニューに戻ります。

倍率調整やカラーモードの変更が可能です。

通常の画面に戻すには静止画シャッターボタンを押してください。

※保存した画像を表示させたとき、使用しているモード(読書モード/遠方モード)にかかわらず、操作バーの色はオレンジ色になります。

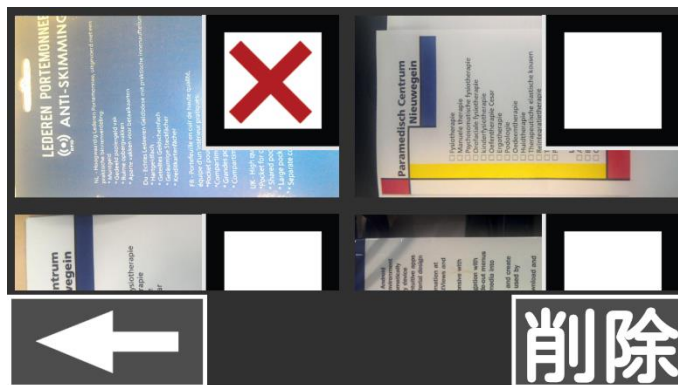


保存した画像を表示

操作バー: オレンジ色

削除

画像を削除するには、メインメニューを開き、[開く]アイコンをタッチしてください。保存した画像が表示されたら、[削除]アイコンをタッチしてください。各画像の右上にチェックボックスが表示されます。削除したい画像にタッチすると、チェックボックスに[X]が表示されます。同じ画像にもう一度タッチすると、[X]は消えます。画像を選択後、[削除]アイコンをタッチすると、「選択した画像を削除しますか？」というメッセージが表示されます。[はい]を選択すると、選択した画像が削除され、[開く]画面に戻ります。[いいえ]を選択すると、チェックボックスの画面に戻ります。



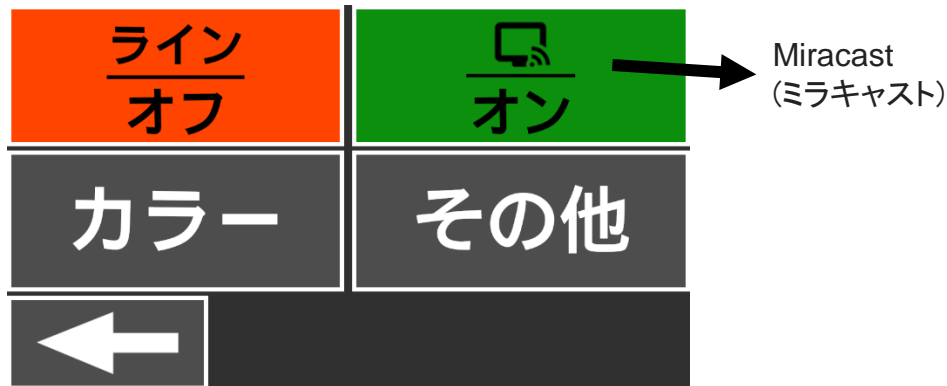
画像の削除

すべての画像を削除するには、[削除]アイコンをタッチしてチェックボックスを表示させ、画像を選択しないでもう一度[削除]アイコンにタッチしてください。「すべての画像を削除しますか？」というメッセージが表示されます。[はい]を選択すると、「すべての画像を削除しました」というメッセージが表示され、すべての画像が削除され、メインメニューに戻ります。[いいえ]を選択すると、チェックボックスの画面に戻ります。[←]をタッチすると、[開く]画面に戻ります。もう一度、[←]にタッチすると、メインメニューに戻ります。

設定

メインメニューの[設定]アイコンをタッチすると、[設定]メニューに入ります。[設定]アイコンは、バッテリーアイコンの隣にあるギアのアイコンです。設定メニューには以下の4つのアイコンがあります。

- ライン
- Miracast (ミラキャスト)
- カラー
- その他



設定メニュー

ライン オン/オフ

読書をするときに便利なラインを表示することができます。読書用ラインを表示するには、[ライン]アイコンにタッチしてオンにしてください。もう一度[ライン]アイコンにタッチすると、オフになり、読書用ラインは表示されません。

ラインの位置は、第5章「メニュー」の「ラインの位置」で変更できます。


Miracast (ミラキャスト): モニターやテレビにワイヤレス接続

Miracast (ミラキャスト)は、モニターにワイヤレスで接続する伝送技術(規格)です。Miracast に対応している機器どうしは無線で接続します。コンパクト6HD の Miracast 機能を使用するには、モニターや TV が Miracast をサポートしている必要があります。モニターや TV が Miracast 機能をサポートしているかどうかについては、各々の取扱説明書をご参照ください。

Miracast を利用して本体をモニターや TV に接続するには、モニターや TV の電源を入れ、[Miracast]アイコンにタッチすると[Miracast]の画面が表示されるので、[オフ]のアイコンにタッチして[オン]にしてください(出荷時は[オン]になっています)。**[オン]**にし、しばらくすると、利用できる機器が表示されます。接続する機器名にタッチしてください。「デバイスに接続しますか？削除しますか？」と表示されます。**[接続]**にタッチすると、接続が始まります。接続が確立するまで、約1分かかる場合があります。「接続中」とモニターや TV に表示されると、接続する機器名の表示が黄色に変わり、接続が確立すると接続する機器名の表

示が青色に変わり、チェックボックスにチェックが入ります。もう一度接続した機器にタッチすると、接続は遮断されます。

安定した接続を確立するには、本体からモニターや TV までの距離を1メートル以内にしてください。接続の状況によって、映像や音の遅延がみられる場合があります。

正常に接続が完了すると、本機の画面と同じ内容がモニターや TV に映ります。[←]を2回タッチし、メインメニューに戻り、画面右側の  をタッチすれば、通常画面になります。

※なかなか接続できない場合があります。何度も接続しなおしてください。

※Miracast 対応の機器によって、接続が確立できない機器もあります。

※待機モードに入った場合には、Miracast の信号が途切れる場合がありますので、再度接続してください。

カラー

[カラー]アイコンにタッチして、お好みのハイコントラストモードを選んでください。



カラーメニュー

コンパクト6HD には、4つのハイコントラストモードがあります。文字色(前景色)と背景色を選択できます。ハイコントラストモードは3つまで無効(表示しない)にできます。

文字色(前景色)と背景色の変更方法

1. 変更したいハイコントラストモード番号の[Λ]または[V]をタッチして変更してください。
2. ハイコントラストモード(1~4)の内、2、3、4は、無効[X]を選ぶことができます。
3. 設定メニュー画面に戻るには、[←]アイコンにタッチしてください。

文字色と背景色の組み合わせ

白字－黒背景	黒字－白背景	黒字－黄背景	黒字－緑背景	青字－黄背景
青字－白背景	黒字－琥珀背景	黒字－赤背景	黒字－紫背景	黄字－黒背景
緑字－黒背景	黄字－青背景	白字－青背景	琥珀字－黒背景	赤字－黒背景
紫字－黒背景	黒字－灰色背景			

(全 17 種類)

その他

[その他]には、以下の設定があります。

- 読書用ライト
- 遠方用ライト
- 消音
- バイブレーション
(日本版では対応していません)
- ラインの位置
- 待機
- 操作バーの位置
- スタンド収納時
- 言語
- 初期設定に戻す



その他のメニュー

読書用ライト

読書モードで使用するライトのオン/オフ設定ができます。初期設定は、オンです。

遠方用ライト

遠方モードで使用するライトのオン/オフ設定ができます。初期設定は、オフです。

消音

タッチ操作音の設定ができます。出荷時は、消音はオフ(タッチ操作音が聞こえる)になっています。[初期設定に戻す]を選択しても、オン/オフの状態は変わりません。

※電源オン/オフ時の起動音と終了音は、[消音]設定をオン(タッチ操作音がしない)にしても消えません(電源のオン/オフ時は、常に音がします)。

バイブレーション

電源オン/オフ時のバイブレーション(振動)のオン/オフの選択ができますが、日本版では対応しておりませんのでオンでもオフでも振動します([バイブレーション]設定のオン/オフを変更しても変化はありません)。

ラインの位置

設定メニューのラインがオンの時の線の位置を変更することができます(横中央、下、左、縦中央、右、上)。初期設定は、横中央(画面の中央の横ライン)表示です。

横中央(横ライン中央)、下(横ライン下側)、左(縦ライン左側)、
縦中央(縦ライン中央)、右(縦ライン右側)、上(横ライン上側)

待機

省電力のために待機モードになる時間を設定できます(1分、2分、5分、10分、15分、30分、なし)。初期設定では、5分以上ボタンが押されなかったり、本体の動きが感知されなかった場合に待機モードになります。待機モードを解除するには、電源ボタンを軽く押してください。

操作バーの位置

操作バーの位置変更ができます(自動、下、横)。お好みに合わせて、操作バーの表示を下か横に変更できます。

初期設定は、[自動]です。[自動]に設定されているとき、操作バーの位置は下になります([自動]と[下]の操作バーの位置は同じです)。[横]は操作バーが画面の右側になります。

スタンド収納時

[スタンド収納時]が[待機]に設定されているとき、本体のスタンドを閉じると、待機モードになります。[スタンド収納時]が[遠方モード]のとき、スタンドを閉じると自動的に遠方用カメラに切り換わります。

言語

出荷時には、[日本語]に設定されています。言語を変更して[←]にタッチすると、メニューなどの表記がすべて選択した言語で表示されます。誤って別の言語に変えてしまった場合は、[言語]で[日本語]が表示されるまで選択画面をタッチし続けてください。[日本語]を選択して[←]にタッチすると、日本語表記に戻ります。[初期設定に戻す]を選択しても、選択した言語は変わりません。

初期設定に戻す

初期設定に戻すときは、[初期設定に戻す]をタッチしてください。「初期設定に戻しますか?」と表示されます。初期設定に戻す場合は、[はい]を選択してください。やめる場合は、[いいえ]を選択してください。[はい]を選択すると「初期設定に戻りました」と表示され、初期設定に戻ります。初期設定は以下の通りです。

・その他(メニュー)

読書用ライト:オン

遠方用ライト:オフ

消音:出荷時はオフになっています。[初期設定に戻す]を選択しても、オン/オフの状態は変わりません。

バイブレーション:オン(日本版では対応しておりません。オン/オフを変更しても変化はありません。)

ラインの位置:横中央

待機:5分

操作バーの位置:自動

スタンド収納時:待機

言語:出荷時は[日本語]になっています。[初期設定に戻す]を選択しても、選択した言語は変わりません。(全 28 種類)

・ハイコントラストカラーモード

- 1 白字－黒背景
- 2 黒字－白背景
- 3 黄字－黒背景
- 4 黄字－青背景

・ライン:オフ

・Miracast (ミラキャスト): 出荷時はオンになっています。[初期設定に戻す]を選択しても、オン/オフの状態は変わりません。

・明るさ調整バー: 右側(一番明るい状態)

※「初期設定に戻す」を実行しても、保存した画像は消えることはありません。

カメラレンズおよびライトのお手入れの方法

安定した正常な映像を表示させるために、カメラのレンズ部とライト用の窓をきれいな状態に保ってください。カメラレンズが汚れていると、画像が乱れたり、焦点が合わなくなることがあります。きれいな状態に保つことで、画像が暗くなることや斑点などの模様が映るなどの不具合を防ぐことができます。カメラのお手入れには、同梱のクリーニングクロスか柔らかい乾いた布をご使用ください。

注: カメラレンズのお手入れに、水や溶剤を使用しないでください。



6. 製品仕様

倍率	約 1.8～約 18 倍(読書モード) ※遠方モードの場合、倍率はカメラと被写体との距離によって変化します (倍率、18 倍は読書用スタンドを使用しての最大倍率)
カラーモード	フルカラーモード ハイコントラストモード1～4(17種類から選択可能)
フォーカス	読書カメラ:固定、遠方カメラ:オートフォーカス
LCD モニター	6 インチ TFT
モニター解像度	1280 x 720
本体サイズ	約 183 x 95 x 14 mm、約 270 g
スタンドサイズ	約 187 x 105 x 70 mm(読書用スタンド使用時)、約 110 g
バッテリー	連続使用時間: 約 2.5～3 時間(画面の明るさなどの設定により変わります) 充電時間: 約 2 時間
リチウムポリマー電池	充電可能、3.7V 2600mAH
AC アダプター	入力: 100-240V, 50-60Hz, 0.4A 出力: DC5V-2.5A

※仕様は予告なく変更する場合があります。

動作環境

温度

+10°C ~ 35°C

湿度

結露のない状態で、70%以下

7. お客様相談室

フリーダイヤル： 0120-886-610

受付時間： 平日 9:00～12:00
 13:00～17:30（土曜・日曜・祝日は休み）

製造元： Optelec

輸入販売元： 株式会社 タイムズコーポレーション

〒665-0051 兵庫県宝塚市高司 1-6-11

TEL: 0797-74-2206

FAX: 0797-73-8894

URL: <http://www.times.ne.jp>

E-Mail: info@times.ne.jp

(1803)